

平成29年6月14日 定例教育委員会 会議録

1 開催日時及び場所

- ・平成29年6月14日（水） 午後2時00分 ～ 午後4時20分
- ・教育委員会室

2 出席者

教育長	松川 禮子	事務局職員	
委員	稲本 正	副教育長	石原 佳洋
委員	月村 時子	教育次長	折戸 敏仁
委員	野原 正美	義務教育総括監	服部 和也
委員	森口 祐子	総合教育センター長兼教育研修課長	坂井 和裕
	(土屋嶮委員は欠席)	教育総務課長	布施 明彦
		教育総務課教育主管	堀 貴雄
		教育財務課長	林 裕久
		教職員課長	石田 達也
		教職員課福利厚生室長	森部 圭一
		教職員課教育主管	服部 照
		学校安全課長	三輪 康典
		学校支援課長	北岡 龍也
		学校支援課教育主管	渡邊 勝敏
		特別支援教育課長	林 雅浩
		体育健康課長	野田 正明
		体育健康課教育主管	中川 浩美

3 議事日程等

報第1号、議第1号、議第2号、事務局報告（政策）（2）、（5）及び（6）について非公開とすることを決定。

4 会議録

平成29年5月29日開催の定例教育委員会の会議録を承認。

5 審議の概要

別添のとおり

会 議 録

発 言 者	発 言 内 容 ( ) 書きは事務局発言
<b>報第1号</b>	<b>職員の表彰について（非公開案件）</b>
	退職教職員の表彰（1件）を専決で行ったことを報告し、承認された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。
<b>議第1号</b>	<b>岐阜県教育功労者の表彰について（非公開案件）</b>
	岐阜県教育功労者の表彰について諮り、可決された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。
<b>議第2号</b>	<b>岐阜県教育委員会職員永年勤続表彰について（非公開案件）</b>
	岐阜県教育委員会職員永年勤続表彰について諮り、可決された。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。
<b>事務局報告（政策）</b>	
	<b>（1）平成29年度岐阜県地方産業教育審議会の報告について</b>
学校支援課長	<p>岐阜県地方産業教育審議会を岐阜工業高等学校において開催したので報告する。</p> <p>午前中に授業を見学した後、本審議会を開催した。本審議会は16年ぶりに開催するというので、今後の岐阜県における産業教育の在り方についてご審議いただいた。</p> <p>まず、当日の午前中に行われた授業等について意見を頂いた。岐阜工業高校は文部科学省からスーパープロフェッショナルハイスクールの指定を受け航空宇宙産業を基軸とした教育を実施しているが、時代に合った学校であるといった意見や、産業界や企業と学校がよく連携をして人材育成に取り組む仕組みができてきているといった肯定的な意見があった。一方で、一年間をかけてじっくりと取り組む授業だけではなく、短時間でいかに必要なものを作るかという課題があってもいいのではないかという意見もあった。</p> <p>次に、岐阜県全体の産業教育についての意見の中で、特に地域産業を担う専門的職業人の育成については、今以上に産業界と学校、地場産業と連携をして人材育成をしていくことの必要性や企業側が学校に対してアピールすることについて県からアドバイスが欲しいこと。更には、岐阜県では伝統的に一つの学校に単独の学科を置く高校が多いが、他県では学校を統合して総合実業高校に再編し、複数の学科を置いているところもあるため、岐阜県も6次産業に対応した教育を実現するため方策を考える必要があるという意見があった。</p> <p>次に、異文化理解についての意見の中で、高山などの観光業界における人材不足から高等学校において、その様な人材を育成して欲しいという要望があった。高校生の育成は、生徒の卒業後の姿も見据えた中長期的なビジョンに立って行うべきとの意見があった。</p> <p>最後に、高度な技術・技能の習得に対応した施設設備の整備についての意見の中で、海外は非常に立派な施設設備があるということで、その様な施設設備に対応した教育を授業でも取り入れるべきとの意見があった。</p>

ホームページ公開用

	<p>本審議会においては、更に議論を重ねたうえで、答申という形で今後の岐阜県における産業教育の在り方について方向性をお示しいただきたいと考えている。</p>
稲本委員	<p>現場で対応していく人が必要だが、学校教育の中で現場を踏まえた産業教育を教える必要がある。現場が欲しいのは机上の空論ではなく、現場で動ける人である。地元の企業と協力しながらもう少し具体的に勉強していかないと結びついてこない。</p>
学校支援課長	<p>審議会でも同様の意見があったが、一方で、あくまでも高校であるという事を意識しなければならない。専修学校等ではないので高校教育をしながらいかに地域と結びつかばバランスが重要であると考えている。</p>
教育長	<p>専門学科の先生方も他県の同種の学校と情報交流はしているのか。</p>
学校支援課長	<p>全国の主事会があるため、情報交流はしている。また、教員レベルでも東海4県の農業校長会など学科ごとの集まりを頻繁にしている。特に岐阜県や三重県は産業教育に強いという地域柄、情報交換はされていると考える。</p>
<p><b>(2) 平成29年度第2回岐阜県教科用図書選定審議会の報告について（非公開案件）</b></p>	
<p>平成29年度第2回岐阜県教科用図書選定審議会の報告について報告した。 本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
<p><b>(3) 平成29年度第1回岐阜県人権教育協議会の報告について</b></p>	
学校支援課長	<p>5月24日に岐阜県人権教育協議会を開催したのでご報告する。</p> <p>この協議会は毎年開催しており、岐阜県の人権教育に携わる学校、関係団体、有識者からなる協議会である。本年度の人権教育についても例年通り進めていくところであるが、特に議論の中心となったのは、「ひびきあいの日」の取組についてである。岐阜県の人権教育は、この「ひびきあいの日」を中心に各学校で展開しているところである。しかしながら、「ひびきあいの日」のような「〇〇の日」といった点での活動ではなく、年間を通しての活動を継続していくことが重要であるため、「ひびきあいの日」の名称変更など、常に取り組み活動であることを示すべきではないかというご意見があった。</p> <p>また、学校支援課と教育研修課が協力して、人権教育資料「ひびきあい」を作成している。我々が直面している人権課題はさまざまあるが、その中でも同和問題についてはしっかり取り上げている姿勢を資料で示しているところである。その点について、ありがたいというご意見があった。</p> <p>人権教育協議会では指定校を毎年指定しており、その学校において人権教育の具体的な実践に取り組んでいただいている。秋ごろにその実践を参観する機会があり、今後もそのような学校の授業等を参加する機会があるとよいというご意見があった。</p>
森口委員	<p>人権教育協議会はどのような方が選任されているのか。</p>
学校支援課長	<p>有識者として、岐阜県において人権教育に中心的に取り組んでいた元教員、あるいは大学等において人権教育に携わっている先生方、さらに、同和教育の団体や人権擁護委員の方など、まさに人権問題に取り組んでいる方々、そして学校関係者や今回の実践校の教員に参加していただいている。</p>
森口委員	<p>一般的に何かを議論する際には、擁護する人もいれば否定をする人もいるわけだが、いい意味でシャッフルされた人間で議論をしないと、結局は、その物事をちゃんと見て</p>

ホームページ公開用

	<p>いるようで見えなくなることを、逆にこのような会を開催することで終わらせてしまうことも、なかなか難しい問題だと感じる。選任されている委員によって両方の意見が存在するように厳密に構成されているのであれば問題ないが、いかがか。</p>
学校支援課長	<p>（ 人権問題に取り組まれている方々が中心であるので、人権に関して反対という議論にはならないと思う。ご指摘のように偏りがあるとは思わないので、意識して対応していきたい。）</p>
稲本委員	<p>人権問題は実際のところ簡単そうで難しい。生物としてホモサピエンス一種であることをわかっていない人は多い。これは人種を超えて、ホモサピエンスという一種類が地球上に異常発生しているわけで、生物としての人種的差別が1つ、さらに社会的差別がもう1つある。社会的差別はいろいろなものがあるが、同和問題には歴史的背景があり、貧富の差においてもある種の差別がある。この様な社会的差別によって起こる人権問題はまた違う。生物学的な考え方に関して人権問題を議論できる人、社会的差別においても歴史的背景と貧富の問題の背景は少し違うが、それぞれの社会的問題から起きる問題点から議論できる人、その様な人たちから構成された場で議論されることで、本当の人権問題が議論できると考える。そこができていくのかな、ということに正直思う。</p> <p>一方で、世界の流れにおいては、政治的な問題に触れてはいけないが、アメリカにおいては多民族国家であるのに多民族国家であることを把握していないような発言があり、これは人権問題からすれば大きな問題である。さらに、あまり人権問題とは全然関係のない環境問題においても、実のところアフリカにおいては環境が劣悪なことによって人権問題に発展している。戦争の問題になればもっと大きな問題で、戦場で死んでいく子どもたちの人権はどうなっているのかという未解決な問題もある。今後、日本も海外との交流が盛んになっていく中で、人権教育協議会においても、参考意見であるが、このような観点で議論されることを期待する。</p>
教育長	<p>この様な意見が出たのもこれまで定例教育委員会に人権教育協議会の報告がなかったからだと思う。毎年複数回実施され、県教育委員会として重要な会議として位置付けているが、これまでこの場で議論されてこなかった。この人権教育協議会は、以前は、人権同和教育協議会とされ、同和問題に関する色彩が強かった。現在は、人権問題全般を対象として、性差別や障がい者差別等といったものも広く扱っているが、例えば、性同一性障がいに関する有識者の方が協議会に参加しているのか。</p>
学校支援課長	<p>（ 協議会の構成メンバーの中にそういった方は現在入っていない。この人権教育協議会で扱っているテーマとしては、以前は同和問題が中心であったが、現在は法務省が17の人権課題を示している。その課題を網羅した内容が議論できるようなテーマを扱う必要があることから、今後の構成メンバーについてはその様な観点で考えていきたい。）</p>
森口委員	<p>人権教育資料「ひびきあいNO15」はどこに配布されているのか。</p>
学校支援課長	<p>（ 学校、図書館、博物館、公民館といった社会教育施設等に配布し、学校教育や社会教育において活用いただいている。）</p>
教育長	<p>余分があれば、今後、教育委員会にも配布していただきたい。</p>
<p><b>（４）平成29年度第1回岐阜県道徳教育振興会議の報告について</b></p>	
学校支援課長	<p>（ 岐阜県道徳教育振興会議についてご報告する。</p> <p>この会議は毎年開催しており、学校支援課が担当している。これは、道徳教育について審議いただく場であり、人権教育にも関わる内容であるが、これまで主として議論されてきたものは、「1家庭1ボランティア」運動のような学校、家庭、地域が連携して</p>

ホームページ公開用

	<p>子どもたちの道徳心を育むような活動がいかにあるべきかということが中心に議論されてきた。しかし、今年度は先ほどの教科用図書選定審議会の報告でも申し上げたが、小学校において「特別の教科 道徳」が来年度からスタートするところであり、学校における道徳教育がどうあるべきかという点に軸足をおいて議論していただいている。この道徳教育振興会議においても、パワーアップ実践校を県内小学校、中学校をそれぞれ1校ずつ指定し、その学校での取組をモデルとして県内各学校に対して紹介していきたいと考えている。</p> <p>参加された委員のご意見として、学校教育の時間での道徳教育と学校外での道徳教育、学校、家庭、地域が連携した道徳教育の重要性が述べられた。課題として、保護者参観等での道徳は他の教科の授業参観に比べると、保護者の参加人数がかなり少ないことである。保護者の考え方や関わり方を考えていくことも、これからの道徳教育の充実に重要ではないかというご意見をいただいた。今後、どの様な対応ができるか、パワーアップ実践校でどの様な取り組みができるか考えていきたいと考えている。</p>
稲本委員	「1家庭1ボランティア」は岐阜県独自の取り組みか。
学校支援課長	私が承知している限りでは、他県でもボランティア推進の観点から同様の取り組みはあると考えられるが、「1家庭1ボランティア」として全県としての取組は岐阜県独自であると思う。
稲本委員	どのようなきっかけで始まったのか。
学校支援課長	<p>私が過去の方から聞いた範囲の話ではあるが、岐阜県でも他県と同じように学校が一時期大変荒れた時期があり、そのような時期に道徳教育において、学校だけでなく家庭・地域を巻き込んで子どもたちを見守っていくという運動が展開されたと聞いている。その中で「1家庭1ボランティア」は子どもたちの取組・活動を家庭で見守りながら、地域でささえるという理念でスタートしており、そのようなきっかけで始まったと認識している。</p> <p>資料にも記載されているように、近年では、夏休みの宿題として形式的な取り組みとなってしまっているという課題もあり、元々の目的に立ち返って取り組むべきという意見も会議では出されたところである。</p>
<b>(5) 教職員の勤務環境の改革に関する総合的な方針について（非公開案件）</b>	
<p>教職員の勤務環境の改革に関する総合的な方針について報告した。</p> <p>本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
<b>(6) 特色ある学校づくりを推進するための高等学校改革について（非公開案件）</b>	
<p>特色ある学校づくりを推進するための高等学校改革について報告した。</p> <p>本件は非公開案件であるため、会議録は別途作成。</p>	
<b>事務局報告（その他）</b>	
<b>(1) 岐阜県における全国レベルの表彰について</b>	
教育総務課長	岐阜県における全国レベルの表彰について、スポーツ部門の5月分を掲載しているので、ご確認いただきたい。

(2) 平成29年度教育委員会行事予定について

教育総務課長

平成29年度教育委員行事予定について、前回からの変更点は、網かけの箇所である。当面の予定としては、6月27日(火)に臨時教育委員会がある。8月以降の定例教育委員会の日程についても追記している。

なお、教育警察委員会の加藤委員長の提案で、教育委員と直接、意見交換を行える機会を設けられないかということであった。賛同いただけるなら、7月以降のいずれかの定例教育委員会に合わせて意見交換会を設けたいと考えているのでお願いします。

閉会

午後4時20分、閉会を宣言する。